



日本骨髄バンクの現状（平成 27 年 12 月末現在）

	11 月	12 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,785	2,083	456,980	656,957
患者登録者数	229	266	3,062	46,837
移植例数	107	89	—	19,009

■12 月年代別ドナー登録者数（現在数）

10 代	2,749 人
20 代	70,344 人
30 代	142,538 人
40 代	188,845 人
50 代	52,504 人

■12 月の 20 歳未満の登録者 217 人

■12 月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／652 人、献血併行型集団登録会／1,374 人、集団登録会／0 人
その他／57 人

■12 月末までの末梢血幹細胞移植（PBSCT）累計数：140 件 注）数値は速報値のため訂正されることがあります。

■骨髄バンクを介して 2 回提供された方（累計数）1,253 人 ■DLI（ドナーリンパ球輸注）療法の実施件数（累計数）696 件

■国際協力の現状（2015 年 10 月～2015 年 12 月）

<海外ドナー⇒国内患者> 移植数 1 件：台湾 BTCSCC 累計移植数：184 件

<国内ドナー⇒海外患者> 提供数 2 件：KMDP 1 件：NMDP 1 件 累計提供数：254 件

1 平成 28 年の開始にあたって

昨年は骨髄および末梢血幹細胞移植数が累計で 19,009 件と 19,000 件を突破しました。骨髄バンク関係者の皆様のご尽力の賜物であり、厚く御礼申し上げます。

今年 12 月には骨髄バンク設立 25 周年を迎えることとなります。これを記念して、9 月 17 日（土）に設立 25 周年記念骨髄バンク推進全国大会を慶應義塾大学 日吉キャンパス 藤原洋記念ホールで開催します。皆様方の倍旧のご支援をよろしく申し上げます。

2 平成 27 年の移植数およびコーディネート状況

平成 27 年 1 月～12 月の移植数は 1,268 件（国内ドナー⇒国内患者：1,252 件、海外ドナー⇒国内患者：3 件、国内ドナー⇒海外患者：13 件）でした。平成 26 年の件数（合計：1,332 件、国内ドナー⇒国内患者：1,319 件、海外ドナー⇒国内患者 2 件、国内ドナー⇒海外患者 11 件）と比べ、総数で 64 件と大幅に減少し、前年比 95.2% でした。PBSCT は 53 件で、前年（54 件）と比べて 1 件減少しました。

コーディネート件数は、確認検査数が 5,212 件（前年 5,711 件、前年比 91%）、最終同意が 1,529 件（前年 1,639 件、前年比 93%）でした。骨髄採取のコーディネート期間について、ドナーコーディネート開始から採取までの中央値は 122 日で、前年と同じでした。一方で、末梢血幹細胞採取のコーディネート期間の中央値は 111 日（前年 107 日）と前年より延長しました。

移植件数が昨年を大きく下回ったのは、臍帯血移植や血縁者間半合致移植など治療方法が多様化していることなどが要因のひとつと考えられます。

骨髄バンクでは、認定施設の医師の方々などの関係者と連携して、コーディネートのあり方をゼロベースで見直して、コーディネート期間の飛躍的な短縮に努めてまいります。

3 平成 27 年のドナー登録者 28,308 人

平成 27 年 1 月～12 月の新規ドナー登録者数は 28,308 人でした。平成 26 年の 27,580 人に比べ 728 人の微増（前年比約 2.6% 増）となり、3 年ぶりに前年を上回りました。



都道府県別では、栃木県が 2,203 人と、前年 1,433 人から 770 人増加し、東京都の 2,806 人に次ぐ登録者数となりました。窓口別では献血併行登録会での登録が約 71%（前年約 64%）を占め、献血ルームでの登録が約 26%（前年約 32%）となっています。

4 平成 28 年度国庫補助金について

平成 28 年度の政府予算案が閣議決定され、造血幹細胞移植対策関係予算は総額 22 億 8 千万円と内示されました（前年度比 2 億 2 千万円増）。

本法人に関する予算（骨髄移植対策事業費）は約 3 億 9,500 万円で昨年度（約 4 億 4,600 万円）に比べ約 5,100 万円の減額となりました。

主な内訳は、コーディネートシステム再構築費が約 6,200 万円の減額、骨髄連絡調整者活動旅費が約 2,400 万円の減額となりました。一方、生活保護受給世帯などの低所得者の患者負担金減免のための低所得者対策事業費が約 2,400 万円の増額となりました。

5 非血縁者間骨髄・末梢血幹細胞採取施設・移植診療科の認定について

以下の施設が新たに非血縁者間骨髄採取施設・移植診療科として認定されました。（1/5 現在 178 施設）

- | | |
|----------------|--------|
| ・採取施設 | ・移植診療科 |
| 京都第二赤十字病院 | 血液内科 |
| 兵庫県立尼崎総合医療センター | 血液内科 |

以下の施設が新たに非血縁者間末梢血幹細胞採取施設として認定されました。

（1/5 現在 91 施設）

- ・採取施設
- 松江赤十字病院

新規認定施設は、当法人ホームページ＞患者さんへ＞移植認定病院およびドナー登録されている方へ＞面談施設一覧でもご覧いただけます。

6 京都府内の 3 市町がドナー助成制度を導入

京都府の 3 市町（綾部市、笠置町、京丹波町）で、造血幹細胞を提供したドナーのための助成制度がスタートしました。助成内容は各自治体によって異なりますので、直接お問い合わせください。ホームページに問い合わせ一覧を掲載しています。

7 マニユライフ生命もドナー給付金商品販売

マニユライフ生命保険株式会社では造血幹細胞を提供したドナーへ給付金が支払われる保険の販売を開始しました。給付申請に当たっては、当法人発行の専用証明書のみで手続きが可能です。

ドナーに対する給付等がある商品を扱う保険会社は 18 社になりました。詳細は、当法人ホームページをご参照ください。（<http://www.jmdp.or.jp/donation/about/benefit.html>）

8 平成 27 年度「説明員研修会」の実施見送り

平成 27 年度の説明員研修会の実施を見送りますので、ご理解をお願い申し上げます。

9 骨髄バンク・さい帯血バンク広報誌「BANK！ BANK！」創刊

【骨髄バンク・さい帯血バンク】の理解を深めるための広報誌「BANK！ BANK！」が日本赤十字社から発行されました。下記ホームページで公開するほか、献血ルームなどに紙媒体で配布されます。

紙媒体が必要な方は、日本赤十字社（TEL:03-3437-7205）へお問合せください。

掲載 URL：http://www.bmdc.jrc.or.jp/info/2016/0115.html

10 提供希望者都道府県別登録者数（資料 2）の変更

今号の「マンスリーJMDP」より提供希望者都道府県別登録者数（資料 2）での「問合せ・照会件数」の項目を削除し、「血液センター登録者数」に「取消数」「純増数」欄を追加して、登録数の実態をより明確にします。また、登録者数の内訳については「総数」「20～54 歳」に「18～19 歳」欄を追加します。

11 当法人の会議等開催予定

◆会議の傍聴をご希望の方は、事前に当法人総務部までお申し込みください。

会議名	公開・非公開	開催予定
業務執行会議	公開・一部非公開	1月22日（金）17：30～廣瀬第2ビル地下会議室
業務執行会議	公開・一部非公開	2月16日（火）17：30～廣瀬第2ビル地下会議室
ドナー安全委員会	非公開	2月20日（土）12：30～廣瀬第2ビル地下会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

12 患者登録申請書「PB のみ希望」を追加＜移植医師、登録医師の方へ＞

非血縁者間末梢血幹細胞移植の条件緩和に伴い患者登録申請書＜移植方法＞の希望欄に「PB のみ希望」を追加しました。当法人ホームページよりダウンロードしてご使用ください。

13 2016 年全国調査 台帳登録提出のお願い＜移植医師の方へ＞

一般社団法人日本造血細胞移植データセンター（JDCHCT）／日本造血細胞移植学会（JSHCT）から発出された「2016 年全国調査 台帳登録提出のお願い」でご案内のとおり、「台帳登録」の提出がされていないと原則として移植施設認定の更新がされません。台帳登録の提出は 2 月 19 日までとなっていますので、必ずご提出くださいますようお願いいたします。

※詳細は、JDCHCT ホームページをご参考ください。（http://www.jdchct.or.jp/trump/）

14 「造血幹細胞移植推進事業フォーラム」開催のご案内<医師の方へ>

本年 3 月 3 日（木）～5 日（土）名古屋国際会議場で開催される第 38 回日本造血細胞移植学会総会の会期中、「造血幹細胞移植推進事業フォーラム」が開催されます（JSHCT 主催）。ぜひご参加ください。

日時：平成 28 年 3 月 5 日（土）10:00～11:30

会場：名古屋国際会議場 白鳥ホール（南） 第 3 会場（4 号館 1F）

15 平成 28 年度非血縁者間骨髄および末梢血幹細胞採取施設の認定更新調査<採取認定施設の医師の方へ>

平成 28 年度非血縁者間骨髄および末梢血幹細胞採取施設の認定更新調査を開始しました。ご返送いただく書類は以下のとおりです。

- ① 平成 28 年度非血縁者間<骨髄>および<末梢血幹細胞>採取施設の認定更新調査票（病院情報）
- ② 各委員会《輸血療法委員会・感染症対策委員会・安全管理（医療安全・事故対策等）委員会》の議事録

※ 直近開催のもので開催日・開催場所・出席者の記載があれば内容は必要ありません。

- ③ 認定証の発行について（お伺い）

- ④ 『同種末梢血幹細胞採取症例報告(2014/1～2015/12)』

※ 末梢血幹細胞採取施設においては書類④へ採取症例詳細をご記入の上、合わせてご返送ください。

■提出期限：2 月 5 日（金）

16 平成 28 年度調整医師委嘱更新手続き<調整医師の方へ>

平成 28 年度調整医師委嘱更新手続きに関する書類を 1 月中旬以降順次発送します。なお来年度から、委嘱期間を 1 年とし、原則として自動更新とさせていただきます。

異動等のご予定がある先生方は、同封の「調整医師異動等連絡票」をドナーコーディネート部に FAX いただくか、地区事務局にご連絡ください。異動先でも活動可能な先生方には、後日改めて異動先での調整医師委嘱書類を送付しますので手続きをお願いします。

17 業務委託契約制度への協力をお願い<調整医師の方へ>

当法人では調整医師の業務（確認検査と再検査の採血、最終同意面談での医学的説明等）について、平成 14 年度より業務委託契約制度を設けて、これを推奨してきました。

しかし、契約を締結している施設は昨年末現在で 71 施設にとどまっているのが実情です。

契約を締結していない場合、調整医師の個人的業務とみなされ、採血時の事故等が発生した際に、院内で責任の所在が問題になる可能性があります。まだ実施していない施設におかれましては、リスクマネジメントの観点からぜひとも業務委託契約を締結していただきますようご協力をお願いします。

本件については、委嘱更新の書類に同封して、調整医師の皆さまへ協力依頼の文書を送らせていただく予定です。ご検討のほど何卒よろしく申し上げます。



18 「ドナーのためのハンドブック」を改訂

「ドナーのためのハンドブック」を改訂しました（第 3 版）。今回の改訂は文言等の修正やデータ更新等です。調整医師・採取責任医師・コーディネーターの方にお送りします。

※ 変更点は同封の新旧対照表をご参照ください。

■ 運用

改訂版は第 2 版が無くなり次第、使用を開始します。使用開始は 1 月下旬以降となる見込みです。コーディネーターは面談時に新旧のハンドブックを持参し、ドナーの方が持参された版でご説明をお願いします（差し換え不要）。

19 提供 1 年後のドナー登録意思確認を自動継続に

提供後 1 年間はドナー登録保留となり、1 年後に登録意思確認書を送付してその後の登録の意向を確認していました。ドナーの負担軽減の観点からこれを見直し、とくに申し出がない限り 1 年後にドナー登録を自動的に継続に変更します。

■ 変更後

(1) 開始時期 : 平成 28 年 2 月から（平成 27 年 2 月以降に提供した方）

(2) 対応方法 : 提供から 1 年後にドナー登録が継続になること、継続を希望しない場合は個別に連絡してほしいことを文書でお知らせします。（別紙・見本）

※ ハンドブックは次回改訂時に反映します。

20 ブラッシュアップ研修会を 9 月に開催<コーディネーターの方へ>

平成 28 年度のコーディネーターブラッシュアップ研修会を、以下の方針で開催する予定です。詳細は追ってお知らせします。

1. 開催方針 設立 25 周年記念骨髄バンク推進全国大会併催とする

2. 日程および開催地

<1 日目> 平成 28 年 9 月 17 日（土）

慶應義塾大学 日吉キャンパス 藤原洋記念ホール（神奈川県横浜市）

<2 日目> 平成 28 年 9 月 18 日（日）連合会館（東京都千代田区）

21 連絡事項

◆2015 年コーディネート実績について

今号では、「コーディネート件数（月次データ）」の他に、「コーディネート件数（2015 年実績）」「コーディネート期間（2015 年実績）」を同封します。